

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	MOT概論
科目基礎情報					
科目番号	55008		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	経営情報学科		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	パワーポイントの資料等を配布する。				
担当教員	中村 英人				
到達目標					
①イノベーションの特徴を、説明できる。 ②企業における経営戦略としての技術の役割を、説明できる。 ③企業における技術経営の事例を分析し、考察することができる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安 (優)	標準的な到達レベルの目安 (良)	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安 (不可)	
評価項目1	ケーススタディ企業におけるイノベーションの特徴に対して、独自の考察を示すことができる。	ケーススタディ企業におけるイノベーションの特徴を、説明できる。	イノベーションの特徴に関連する用語について、説明できる。	イノベーションの特徴を、説明できない。	
評価項目2	ケーススタディ企業についての、技術経営における戦略及びマネジメントに対して、独自の考察を示すことができる。	ケーススタディ企業についての、技術経営における戦略及びマネジメントを、説明できる。	技術経営における戦略及びマネジメントに関連する用語について、説明できる。	技術経営における戦略及びマネジメントに関連する用語について、説明できない。	
評価項目3	技術経営に関する事例を自分で見つけ情報収集を行い、分析し、考察することができる。	技術経営に関する事例を自分で見つけ情報収集を行い、分析することができる。	技術経営に関する事例を自分で見つけ、情報収集を行うことができる。	技術経営の実例と、その他の事例の判別がつかない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	MOTは、企業内に生まれた技術を経営上どのように活用しているのかについて明らかにする学問です。単に技術があれば企業の成長が見込めるわけではありません。本講義においては、経営の観点から企業の技術活用について事例を用いながら解説します。 ※実務との関係 この科目は、企業及び地方公共団体において情報システム構築や経済分析を担当した経験を持ち、さらに、MOT (技術経営修士 (専門職)) の学位を有する教員が、その実務経験と知識を活かして、企業や官公庁の技術マネジメントの歴史や現状、課題等の事例を踏まえた技術経営論について、講義形式で授業を行うものである。				
授業の進め方・方法	パワーポイントの資料を中心に、授業を進めます。 なお、この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習として確認テストを実施します。				
注意点	ケーススタディを通じた説明が多い講義となります。毎回指摘されるポイントを理解するように意識してください。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input type="checkbox"/> ICT 利用 <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	講義紹介	講義の進め方や評価方法について説明できる。	
		2週	技術経営が求められる背景	企業における技術経営の重要性について説明できる。	
		3週	イノベーション①	技術の成果を商品化する過程 (3つの関門)、イノベーションの具体的事例および定義を説明できる。	
		4週	イノベーション②	イノベーションの経済的価値を説明できる。	
		5週	製品開発	製品開発マネジメントについて説明できる。	
		6週	マーケティング	製品開発におけるマーケティング戦略 (STP、4P) の適用について説明できる。	
		7週	小テスト	中間のまとめとして、これまで学んできた内容が身に付いているかどうか確認する。	
		8週	—	—	
	2ndQ	9週	小テストの解説と事例研究	小テストの解説を通じて理解度を確認できる。技術に関する動画を視聴し課題やそれに対する対処について説明できる。	
		10週	生産システム	ジャストイン生産システムについて説明できる。	
		11週	製品アーキテクチャ	製品アーキテクチャの概念・枠組みについて説明できる。	
		12週	経営戦略	経営戦略の基礎、ドメインの設定、多角化、資源配分について説明できる。	
		13週	DX・AI・データサイエンス	デジタル化による産業構造の変化や競争優位の変化を説明できる。	
		14週	学生による発表1	興味のある企業ないし商品を選択し、その企業における技術経営を説明し、さらには課題を取り上げ解決策を提示することができる。	
		15週	学生による発表2	興味のある企業ないし商品を選択し、その企業における技術経営を説明し、さらには課題を取り上げ解決策を提示することができる。	

		16週	期末試験 試験解説	期末試験 自身の学習の成果を確認するとともに、間違っているところがあれば、解説を聞き、自分で直すことができる。
--	--	-----	--------------	--

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	経済・ビジネス系分野	経営	企業の社会的責任について説明できる。	4	前1,前3,前4,前6,前7,前8
				日本的経営について説明できる。	4	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				組織構造と組織デザインについて説明できる。	4	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8

評価割合

	試験	発表	合計
総合評価割合	70	30	100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】	30	0	30
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】	40	0	40
汎用的技能【論理的思考力】	0	0	0
態度・志向性（人間力）	0	0	0
総合的な学習経験と創造的思考力	0	30	30